

# 白川わくわくランド ニュース

第12号

発行

●白川流域住民交流センター  
(白川わくわくランド)  
〒860-0854  
熊本市東子飼町8-55  
TEL・FAX(096)346-5454  
ホームページアドレス  
<http://www.wakwaku-land.com>  
メールアドレス  
[wakwaku@wakwaku-land.com](mailto:wakwaku@wakwaku-land.com)

## 総合的な学習

### 本荘小学校 4年 「白川のひみつと大切さ」

校区を流れる白川について、1学期から学習を進めてきました。6・26水害など過去の大きな水害のことや代継橋の架け替えなど治水のこと、本荘校区の白川清掃のことなど学習の後、白川わくわくランドでは白川の生き物について学習しました。

白川の環境、水害と治水、地域の人々の努力など学ぶ中で、人の思いや願いが川をつくっていくことを学びます。



川底にはどんないきものがいるかな?

本荘あたりと白川の様子が違うね。水切りいっぱいできぞ!



### 久木野小学校 4年 「未来の白川を考えよう」

「総合的な学習」で白川上流の学習を進めている久木野小学校の4年生。今回は一日かけて、下流域の白川わくわくランド及びその周辺の白川を教室に学習しました。

班ごとにそれぞれのテーマをもつての学習でしたが、帰り際の一口感想は次の通りでした。

魚班——「川の流れのゆるやかな草の茂った水ぎわに小さい魚がいっぱいいた。」

水生生物班——「カゲロウみたいな虫がたくさんいておもしろかった。」

川の様子班——「川はくによくにや曲がりながら流れている様子や水がぶ(川づくり) かるところの工夫がよくわかった。」

昔の川班——「ここでも堰を造って水を引き、田んぼをつくっているんだ。」(川の利用)

水質班——「透視度計で計ったら100あった。きれいでびっくりした。」



川づくりについて国土交通省の話聞く

水害を防ぐための工夫がされているんだ。

わあー、大きなせきだなー



渡鹿堰見学

## 子飼橋付近 コマ

時にはゆっくり川辺に腰を下ろしてみませんか?



翌は白川までも飲み込む。子飼橋の灯りが暖かい。

河川敷では子供が遊び、散歩の人が三々五々。幼児を連れた親子は水と戯れる。子飼橋は車の行列。



昼



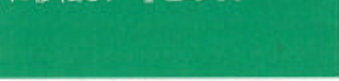
朝

写真提供 白川中学校1年生から  
白川の上流阿蘇から朝日が昇る。朝焼けが川面に映え静かな夜明けを迎える。

## 白川の橋 ③ 新世安橋



橋長156.74mで昭和37年に完成している。二本木～国府線の市道に架かる橋である。右岸には二本木の古い町並みが残り、その一角に「明治天皇行幸白川県庁跡」の説明板が立つ公園がある。そこには「…明治六年、八代県が白川県に統合されたため、白川県庁は手狭になり、そのうえ白川の度々の水害に悩まされたため、明治八年、古城に移転し、…」とある。





# 秋の阿蘇谷をいく



この遊水池のお陰で阿蘇谷の人々ばかりでなく、下流域の私たちも洪水から守られているのか!



治水のために建設された内牧の遊水池。一の宮の多目的貯水池・現在建設中の小野の遊水池を見学し、熊本県阿蘇地域振興局の方の説明を聞く。



治水のためショートカットされた黒川を二重の峠から眺める。

昔、清田は、ヒョウタンを流すことで、蛇行する黒川と白川の流れが合流点までにかかる時間を測り、治水工事に生かしたと言われている。



国造神社は、阿蘇神社とともに「延喜式」にも出てくる数少ない式内社のひとつ。1000年を超えた神社で、阿蘇谷の主ともいえる大ナマズを祀った鯉社も境内にある。

国造神社・阿蘇神社・高岳は一直線上にあると言われている。

国造神社境内の大杉。推定約2000年の国指定天然記念物。平成3年の台風で倒れ現在は屋根をつけて保管してある。この写真は2001年10月に撮ったもの。



〈鯉社〉

## 「白川の魚たち」つかまえたぞ!

モクズガニ!!

国土交通省熊本河川国道事務所の西保幸氏を講師に招いて、子飼橋周辺の白川で白川の生き物調べをしました。川底の石の下や岸辺の草むらに小さな生き物を発見。命のつながりが少し分かったようでした。

体験活動の後は、白川わくわくランドで、今まで捕獲された白川の魚たちをスクリーンを通して見ました。

「白川にも結構たくさんの種類の生き物がいるんだ!」が、参加した子どもたちの感想でした。

今まで活いと言われてきた白川下流域に、比較的きれいな水にしか棲まないといわれる「タカハヤ」や「ウグイ」なども確認され白川わくわくランドの水槽で泳いでいます。



## 「有明海」をテーマのわくわく塾

報告2

### 防災と環境を考える ～不知火海高潮災害と有明海異変～

講師 熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター  
教授 滝川 清 氏

#### ○ 不知火海高潮災害

1999年9月の台風18号は、九州・中国地方に上陸、各地に大きな爪痕を残した。中でも、不知火町松合地区では、海水が一気に低水地内に入り込み12名もの尊い命が奪われた。今回の災害の特徴は、まず、18号台風が不知火海の西側に沿って北上する最悪のコースを通り、かつ、秋の大潮の潮位上昇時間帯と一致したことにある。次に、不知火海が南東に細長く、しかも、湾奥には満潮時でも水深が2m程度にしかならない干潟があり、これにより、高潮、波浪が増幅したことである。

このような災害を今後できるだけ防ぐためには、ハード面、ソフト面からの充実が望まれる。それは、最悪の条件に対処し得る地域環境づくりと予報と避難のソフト面の充実である。従来の行政中心の「防災対策」から、地域住民との連携による「減災対策」への変換が必要である。

#### ○ 有明海的环境

有明海的环境悪化の要因には、干潟域の減少、沿岸域の開発、流域の都市化、農業使用に伴う汚水物質の流入、河川形態の変化、大洪水に伴う土砂、汚濁物質大量流入、高温海水の侵入や潮流の変化など様々な原因が考えられる。しかし、現象が余りにも複雑で、詳細な因果関係はまだ不明のままである。

今後、総合的・長期的な視野で海域環境を考え、行政、住民、学識者等が一体となり、地域の自然環境特性を理解しつつ、海域の「防災・安全」、「自然・生態」、「開発・利用」の調和を図りながら、科学的知見に基づいて環境の再生と持続に向けて、緊急かつ積極的に取り組むべきである。



# 白川わくわくランド寺子屋

1月

## イベントご案内

3月

★星の★

バスツアー

募集人数 30名

平成16年1月24日(土)

17:00~21:00

対象 小学4年生以上  
中学生以下

参加費 200円

2月

冬の白川バードウォッチング

募集人数 20名

平成16年2月21日(土)

9:30~12:00

対象 小学生以上

参加費 100円

~白川河口

小島町散策~

募集人数 15名

平成16年3月13日(土)

9:00~16:00

対象 小学生以上

参加費 1,000円

(雨天の場合は  
中止いたします。)

《お申し込み・お問い合わせ》

### 白川わくわくランド

〒860-0854

熊本市東子飼町8-55

TEL・FAX 096-346-5454

<http://www.wakuwaku-land.com>

[wakuwaku@wakuwaku-land.com](mailto:wakuwaku@wakuwaku-land.com)

お問い合わせ

ご案内

### わくわく文庫

「ふるさと子供

遊びの学校」 著者 原賀 隆一

作者が少年の頃に遊んださまざまな遊びが、作者自身の絵と説明、話でうめつくされている。

自然の中で工夫しながらの遊びの数々は大人にとってはなつかしく、子供にとっては、想像力をかきたて、やってみたくなるであろう。

「一の宮町史・阿蘇山と水」

九州の水のふるさと 著者 田中 伸廣  
阿蘇・一の宮町史シリーズの一冊。

新しいスタイルの町史でテーマごとに独立した一冊の単行本になっていてだれでも興味深く読むことができる。

白川の水源となる阿蘇と、そこで育まれる地下水、湧水などの話はおもしろい。

